

## 令和 2 年度 第 2 回香南市産業振興計画策定委員会【議事録】

- 日時 : 令和 3 年 1 月 29 日 (金) 10:00 ~ 11:45
- 場所 : のいちふれあいセンター 2F
- 出席者 : 35 人 (策定委員 16 人 ・ 市職員 15 人 [市長含む] ・ 傍聴 4 人)

### 1. 開催目的

- ・ 令和 2 年度の取り組み状況と令和 3 年度に向けた取り組み(案)について説明し、各分野別部会長をはじめ、有識者や産業関係団体の代表者に出席いただき、分野を超えた横断的な議論を交わす。

### 2. 議題

- ① 令和 2 年度 香南市産業振興計画の取り組み状況について
- ② 令和 3 年度に向けた取り組み(案)

### 3. 内容

- ・ 次第に沿って進行
- ・ 令和 2 年 12 月 16 日から令和 3 年 1 月 7 日に開催された各分野別部会の協議内容と令和 2 年度の取り組み状況と令和 3 年度に向けた取り組み(案)等について関係課課長より報告。
- ・ 上記のことについての意見交換および策定に向けた動きの確認。

### ◆ 開会

#### (事務局)

それでは、お時間になりましたので、ただ今から、令和 2 年度 第 2 回香南市産業振興計画策定委員会を開催いたします。

本日は何かとご多用のところ、本会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日の会は、香南市産業振興計画策定委員会設置条例第 6 条の規定に基づき、委員 17 名のうち 16 名の方、過半数の方にご参加をいただいておりますので、会が成立しますことをご報告いたします。

それでは、開会にあたりまして、香南市 田内副市長よりご挨拶申し上げます。

#### ◆ 田内副市長 挨拶

皆様、おはようございます。また、遅くなりましたが、本年もよろしく申し上げます。

さて、昨年末より各部会が開催されました。

私もできる限り出席をさせていただきましたが、やはりコロナの対応についてご意見をいただきました。

また、働き方に関しても変化してくるのではないかという内容のご意見も多くをいただきました。

コロナの対応につきましては、香南市としてもしっかりとこれまで以上に進めていかなくてはなりません。

しかし、だからと言って産業振興を立ち止まらせるわけにはいきません。

With コロナを見据えたしっかりした対応、対策を今まで以上に進めていかなければならないと考えております。

その大きな原動力になるのが本日の策定委員会だと考えていますので、時間は多少短いかもしれませんが、中身は濃密なものになりますことを願ひまして、簡単ではございますが、あいさつに代えさせていただきます。

## ◆ 進行

### (事務局)

ありがとうございました。

それでは、議事に入る前に資料のご確認をさせていただきます。

まず、委員の皆様には事前に資料をお配りしておりましたが、お手元にありますでしょうか。

改めて、資料の方ですが、次第、名簿、A3 の資料1、A4 の資料 2 から4、参考資料1になります。

次に資料の説明をさせていただきます。

本日の会は、次第の裏にもスケジュールがありますが、まず、令和 2 年度の取り組み状況を資料1や資料 2 をご覧いただきながら、各分野の担当課よりご報告をさせていただき、意見交換を行います。

次に、資料 3,4 をご覧いただきながら、令和 3 年度に向けた取り組みについて、担当課長よりご報告をいただき、その後、意見交換を行います。

本日はお時間の都合もあることから、資料の全てをご説明はできませんが、ご質問等がございましたら、意見交換の中でお願いいたします。

それでは、説明が長くなり申し訳ございませんが、次第の 3.議事に移らせていただきます。

ここからの進行につきましては、香南市産業振興計画 策定委員会 赤池委員長にお渡しをさせていただきますと思います。

それでは、よろしく願いいたします。

## ◆ 議事

### (赤池委員長)

皆様おはようございます。本年もよろしく願いいたします。

令和 2 年度は皆さんにとって、産業だけではなく、非常に大変で、また、新しいチャレンジをした年になったと思います。

この会議では、2 つ議事が予定されていますが、1 つ目は、令和 2 年度香南市産業振興計画の取り組みということで、昨年度末より、各部会でこれまでの産業の取り組みについてご議論いただきました。

この 10 月までの数値等につきましてご報告いただき、意見交換を行います。

2 つ目は、令和 3 年度に向けた取り組み(案)について、関係課よりご説明をいただきますので、その後、皆様よりご意見等をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

また、本日は 11 時半を目途として進めてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

それではここからは、議事①ということで、令和 2 年度の取組についてご報告をお願いいたします。

## (農林水産課)

お世話になります。よろしくお願ひいたします。

それでは、私からは、農業・林業・水産業についてご説明をさせていただきます。

まず、農業分野でございますが、資料1の1ページをご覧ください。

数値目標ですが、新規就農者数10人に対し、実績は10人となっています。

なお、この数字は、高知県中央東農業振興センターより公表されます前年度の数値となっています。

各取り組みの状況でございますが、まず2ページになりますが、担い手支援事業の後継者育成支援区分については、目標値3人に対し2人となっています。こちらはメロン1、みかん1となっています。

その下の農業次世代人材投資事業開始型につきましては、目標値4人に対し、6人となっています。

また、農業後継者推進事業につきましては、6人の目標値に対し、みかんの方が1人となっています。

次に3ページの一番下の人・農地プランの実質化についてですが、こちらは、今年度中に市内全20地区で、実質化をしていく予定です。

この事業は、各地域で2回ずつ会を行い、整理をしていくものですが、10月末現在では未実施でした。

11月より各地区で開催を行い始めましたが、コロナの影響により、途中から会の開催が難しくなり、止まっている状況です。

今月からは、規模を縮小し、当初2回の予定を各地域1回の開催により取りまとめを行い、各地区の方々へ内容を回覧させていただき、全地区の実質化の策定を行ってまいります。

続きまして、4ページの中山間地域等直性支払事業ですが、こちらは6,650aの目標数値に対し、6,912aと目標を達成しています。

次に5ページになりますが、有害鳥獣対策事業ということで、目標値は635頭羽とありますが、10月末で631頭羽となっています。

また、有害鳥獣被害防止事業ですが、目標値には達してはおりませんが、確実に駆除の被害防止対策には力を入れてやっているとところです。農業分野は以上になります。

次に林業分野になります。6ページをご覧ください。

数値目標は間伐面積となっており、10月末で3.88haとなっております。

各事業についてですが、森林管理制度森林境界明確化委託事業をご覧ください。

10月末までの実績は0haとなっておりますが、※印にありますように、12月現在で、30haを選定し実施とありますことから、既に実施済みの3.88haと合せると今年度の数値目標である25haは達成が見込まれています。

次の7ページでございますが、木育事業については、目標値11回に対し、10月末までは5回、12月23日現在で8回となっています。

なお、今年度は、この8回で終了ということになります。

林業分野については、以上になります。

続きまして、水産業分野です。8ページをご覧ください。

数値目標は、沿岸漁業総生産額ということで、令和2年度の目標値は285百万円ですが、10月街までの実績は135百万円となっています。

各事業についてでございますが、水産機能施設の整備ですが、こちらについては、計画通り進んでおり、12月末現在ですべて完了をしております。

次に 10 ページになりますが、学校給食への納入状況でございます。

まず、かりりじゃこですが、数値目標は 16 回とありますが、10 月末で 30 回と大きく目標値を上回っています。また、12 月の実績としては、43 回となっています。

次にシイラですが、こちらは目標値 22 回に対し、10 月末は 15 回でございまして、12 月末では 17 回となっています。

次に担い手確保事業ということで、10 月末までは 0 人ということでしたが、12 月より吉川町において 1 名の短期研修を開始されており、本年 1 月からは雇用型漁業支援事業を活用し、就業をされております。

水産業は以上になります。

## (商工観光課)

お世話になります。

私の方からは、商業、工業、観光、サイクリングの報告をさせていただきます。

それでは、まず商業分野についてご説明いたします。資料1の11ページをお願いします。

商業分野の数値目標といたしましては、商業者数と新規事務系企業数を設定しています。

まず、商業者数の 813 事業者という目標に対して、まだ現状の数値を把握できていないため、令和 2 年 10 月末現在の評価は示しておりません。

次に、新規事務系企業数については、今年度 2 企業の目標に対して、令和2年4月1日に1企業が本市に来られています。

次に、各施策の進捗状況についてご説明いたします。

空き店舗活用に向けた取り組みの1.商店街等振興計画の策定については、本計画を策定することで中長期的に誰がどうやって活性化に向けた取り組みを行っていくかを明確にし、中心市街地から近隣の観光施設を含めた活性化を図ることで、産業振興計画推進商業部会の目標である商業者数の維持へつなげたいと考えております。

ただし、本年度は、新型コロナウイルス感染症により具体的な取り組みができておりませので、来年度から取りかかりたいと考えています。

次に、12 ページをお願いします。

5. 空き店舗等を活用した新規事務系企業の誘致」については、令和 2 年 4 月 1 日に、東京都に本社を置く企業が道の駅やす内へ事務所を開設しております。

本企業は、システム開発・運用を手掛けており、新たに 2 名の新規雇用を行っています。

次に、「担い手確保に向けた取り組み」の 2-1 未来人材育成奨学金返還助成事業については、これまで新卒者のみが対象でしたが、本年度より満 40 歳未満の中途採用者も対象となるよう改正を行いました。

今までは実績がありませんでしたが、このたび、初めての申請がありました。

ただし、今回のケースは中途採用ではなく、昨年 4 月から市内の社会福祉法人へ勤務されている方で、いわゆる新卒者になっています。

今後はこれを機会に更なる PR を行っていきたいと考えています。

次に、14 ページをお願いします。

商業支援の 3. 香南カーニバル事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を特に受けている飲食店等を支援するために、プレミアムの付いた「飲食店応援バルチケット」の販売を行い、延べ 7,000 人以

上の方に申込をいただき、参加店舗からは本事業があり経営的に助かったといった声も多くいただきました。

4.地場産品販売促進事業については、感染症の影響により宅配サービスが身近になったことで売上が安定しており、昨年4月から10月の売上が、去年同期比で176%と増加しています。

次に、工業分野の、本年度の取り組み状況についてご説明いたします。資料1の15ページをご覧ください。

工業分野の数値目標といたしましては、製造品出荷額と新規雇用者数を設定しています。

まず、製造品出荷額360億円の目標に対しては、令和元年実績の工業統計調査結果は未だ公表されていないことから、R2年10月末現在の評価は示しておりません。

次に、新規雇用者数5人の目標に対しては、4月1日現在の16人に加え、10月1日現在で9名、合計25人の新規雇用になっています。

次に、各施策の進捗状況についてご説明いたします。

企業誘致の促進の1.新規工業団地整備事業ですが、現在、5カ所の候補地がありますが、今後は、開発面積、工事費、また交通アクセス等を総合的に判断のうえ、1カ所を選定する予定をしています。

2.川谷刈谷地区工場用地については、丸三産業さん東に市有地がございまして、そこを10月より分譲を開始し、現在、申し込みが1件提出されておりまして、昨日に選定審査委員会が行われ、決定されれば、年度内に分譲契約を予定しております。

次に、16ページをお願いします。

「既存企業の育成・支援」というところになります。企業訪問を行い、新型コロナ関連の施策を含めて各種事業の周知を行いました。

今後も支援を継続して行うとともに、市内にあります城山高校で合同企業説明会を開催する等、事業所の雇用支援にも取り組んでいきたいと考えています。

なお、県の商談会開催事業につきましては、年間12回の実施予定でありましたが、新型コロナの影響により、最大9回実施予定となっております。

次に、観光分野になります。資料1の18ページをお願いします。

観光分野の数値目標は、市内観光施設10施設の入込客数107万人に対して、10月末時点での実績値が74.0万人であり、前年度比85%となりました。

ただし、新型コロナウイルス感染者数の落ち着きや昨年10月から開始しました観光施設料金を半額助成する「香南市遊ぼう割♪キャンペーン事業」等により、7月から10月は、実績値が31.0万人、前年度比95%と一定回復の兆しは見えましたが、各事業では新型コロナウイルス感染症による、観光人口の減少やイベント中止の影響が出ています。

次に資料の22ページをお願いします。

コロナの影響で、イベント等の中止が相次いだ中、実施することができました、塩の道トレイルランニングレースについてご説明いたします。

新型コロナウイルス感染症対策として様々なガイドラインを参考に開催いたしましたが、具体的な対策としては、バスを使用しない38kmミドルコースを作成し、ランナーには2週間前から健康チェックシートの記入と提出、受付前の検温、30秒毎5人ずつのウェーブスタート、走行中以外はマスクの着用、決められた場所での手指消毒を行いました。

スタッフはマスクにフェイスシールド、エイドは個包装でゴム手袋着用、ゴミの持ち帰り等の対策を実施しました。

開催日は10月4日で、182名が出走し、リタイアが11名、完走率は94%でした。

大会終了後も参加者へのコロナ感染者も出ておらず、結果として無事終了する事が出来ました。

今後の取り組みとしましては、募集人数を減らしたことは、「参加費収入」も減るため、今後の開催は、Withコロナで最大限対応できる募集人数を、実行委員会で決めていく行く必要があります。

次に、サイクリング事業の、本年度の取り組み状況についてご説明いたします。

資料1の24ページをお願いします。

サイクリングの数値目標は、サイクルイベント大会参加数とサイクルサポーター数を設定しています。

まず、サイクルイベント大会参加者数の数値目標500人に対しては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、10月末時点で2イベントの開催で、参加者は50人となっています。

次に、サイクルサポーターの数値目標10団体に対しては、現在6団体ですが、本サポーター数を増やすと共に、本制度を活用し、小規模イベントの開催につなげていきたいと考えています。

各施策の進捗状況についてご説明いたします。

観光(サイクリスト誘致)の1.レンタサイクル推進事業については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う『密にならないアクティビティ』として少しずつサイクリング需要が高まっていましたが、4月～6月までの自粛期間の影響により、昨年度の利用率と比較すると約72%となっており、貸出数は伸びていません。

次に、25ページをお願いします。

観光(サイクリスト誘致)の3-4 イベントの開催(シクロクロスカップ)」については、主催者の方から、出来れば本年3月頃に、本市で「シクロクロスカップ」を開催したいとお話が出ていますので、現在は、開催向けに協議を行っています。

次に、26ページになりますが、健康づくり(市民向けの取り組み)の2.タンデム自転車の利用促進は、タンデム自転車講習会を昨年の10月18日に開催し、募集を超える多くの方々にご参加をいただきまして、参加者からは、「このような企画をまたしてほしい」というお声をいただき、大変好評でした。

次に、27ページをお願いします。

健康づくりの1.香南市自転車活用推進計画の策定については、新型コロナウイルスの影響により、取り組みが遅れていましたが、間もなく第1回目の策定委員会を予定しています。

商工観光課からの説明は以上になります。

## (建設課)

私からは住宅分野についてご報告させていただきます。

資料1の30ページをお願いします。

住宅リフォーム推進事業につきましては、10月末現在で112件の申請があり、予算枠1,500万円に対しまして、1,475万円の交付が決定となっています。

なお、12月末現在では115件の申請となっており、1,495万円となっています。

また、当補助金を活用しました総事業費は10月末で10,234万円となっており、市の経済の発展に寄与されていると考えられます。

次に市営住宅の生活環境の改善及び公衆衛生の向上事業でございますが、こちらは、目標値は20に対

して、現在、22 件の合併浄化槽設置工事契約を締結しています。

また、宅地造成整備事業につきましては、事業規模を想定し、今後の詳細設計の検討を行うことから、概略設計の作成に着手をしています。

次に 31 ページをお願いします。

住環境の整備、耐震化事業につきましては、住宅耐震診断や改修工事、コンクリートブロック塀等耐震対策化事業の進捗が一定進んだこともあり、申請件数は減少傾向にあります。

最後になりますが、32 ページの空き家対策事業のうち、空き家バンク事業につきましては、新規登録件数増加のために、不動産業者や地域連携による空き家情報の収集、移住相談員による空き家調査を実施し、活用できる空き家の掘り起こしに取り組んでおります。

まあ、空き家改修事業でも、相談窓口での制度説明等により、申請増加に繋がっております。住宅分野は以上になります。

#### (赤池委員長)

ありがとうございました。

ここからは、意見交換となります。各部会の取組について、ご意見等ございましたらよろしくお願ひいたします。

また、各事業の補足説明等がございましたらご発言をお願いいたします。

#### (赤池委員長)

いきなり意見というのもないようですので、私から 1 つお教えいただきたいと思います。

農業分野について 1 つお伺ひいたします。

資料 1 に 1 ページの上にあります数値目標はご説明があった通り、昨年度の実績数になりますが、10 人の獲得となっております。

一方で、資料 2 の部会の報告書の 2 ページを確認させていただきますと、今年度は 17 人の就農相談があったということですが、なかなか新規就農には繋がっていないというご報告をいただいております。

今年度はコロナの影響もあると思いますが、昨年度と比べ、どのような方がご相談にこられ、どのような理由で就農にならなかったのかについてお教えいただきたいと思います。

#### (農林水産課)

実績については、お話にありましたように、昨年度の実績になります。

相談件数ですが、10 月末まで 17 件ということがございました。

コロナの関係で転職をされるというお考えの方ですとか、退職を機に農業へという方もいます。

この方々へ農業の説明をさせていただきわけですけれども、なかなか想像していたことと違うというようなことになり、就農に繋がらないということが主な現状になります。

#### (委員 15)

資料 1 の 4 ページの農産物のブランド化の推進事業にあります山北みかんこもれびマルシェについて少し補足をさせていただきます。

11月3日に山北で、雑貨や飲食等を集めて、当イベントを開催させていただきました。

私も実行委員会の者として、農林水産課さんの管轄であります香南市農業活性化地域協議会さんと一緒に連携して当事業を行っており、こもればマルシェの実行委員会は地元の方を中心に10名ほどで行っている。

昨年の開催で5回目となるが、自分たちだけでは大変なイベントになりつつあります。

毎年毎年新たな問題がでてくると言いますか、最初はやればやるほど経験が付き、楽になっていくという感覚だったのですが、今回については「コロナ」という今まで経験したことのないことに対して、皆でどうすればいいか知恵を絞り実行を行ったところです。

また、今回は初めて前日に雨が降り、会場が非常にぬかるみ、車がスリップするような状況になってしまいました。

会場の管理は商工観光課でしたので、急遽、相談をさせていただき、砂利を現場に入れる対応等を自分たちで行ったりという状況でした。

また、これまで駐車場としてお借りしていた場所についても、工業分野の方でご説明もありましたが、売却されるということで、今後はこの駐車場の代わりの場所を確保しないといけないという問題があります。

毎年新たな問題が生じ、自分たちだけでの対応が難しくなっている。

当イベントは、山北みかんを紹介しようと始めたイベントなので、ただ紹介だけではなく、山北に足を運んでいただきたいという思いもあり、山北で開催しています。

市より補助金をいただいていますので、今年も開催はできる見込みですが、先のような問題等もあり不安と言いますか、市の方にもご協力をいただきたいという状況になっています。

### (農林水産課)

コロナ禍における開催ということで、香南市農業活性化地域協議会として、検温された方には、それがわかるようにリストバンドをしていただくように取り組みを行いました。

また、送迎バスも出していますが、バスに乗る前にも検温を行い、同じように対策を行いました。

イベント当日は天気が良く、駐車場もいっばいで非常に多くの方にご来場いただいたのですが、やはり、会場の地面はぬかるみもあり、ブルーシートを敷かれたり、土を入れる対応をされておりました。

お話にもありましたが、山北みかんのご紹介ということで、場所についても山北でという思いから考えますと、山北イベント広場から変えることは難しいでしょうし、駐車場の問題もありますので、市としても一緒に協議をしていきたいと思っております。

### (赤池委員長)

商工観光課はいかがでしょうか。

基本的には、農業分野だと思いますが、観光としていかがでしょうか。

### (商工観光課)

こもればマルシェさんについては、農林水産課が主体となってご協力をさせていただいているところではございますが、会場は当課が管理をさせていただいておりまして、雨の対応もさせていただいた部分です。



ただ、農林水産課だけというのではなく、これからも当課も一緒になって関わらせていただければと考えております。

**(赤池委員長)**

ありがとうございました。他にありませんでしょうか。

ここでもう1つ、私からになります。大学として何ができるかということで、商工業分野にあります。未来人材育成奨学金返還助成事業ということで、奨学金の返還についての事業に1件、手が上がっているという説明をいただいております。

県内の高等教育機関で、高知県への定着という事業を進めているところですので、香南市を含め、自治体を実施している「奨学金返還事業」と域内で大学卒業者を募集しているような事業体の情報と合せて、そのようなネットワークに乗るように、大学の中で早急に取り組んでいきます。

1人でも多く、香南市もちろんですが、高知県内に定着するということと、奨学金がこれからの生活を考えるうえで非常に大きな課題になっている学生が多く居るので、この事業が香南市の魅力になるといいなと考えています。

その他、ございますでしょうか。

**(委員2)**

林業ですが、林業は作業も山の中なので、影響がなさそうに思われがちですが、国内でも緊急事態宣言が出される等し、木材が売れない状況に陥っています。

なので、市場で木材があふれかえる状況になっている。

当組合でもそうですが、働いている者を守らなければならないということで、当組合管内の3市にご協力をいただき、間伐作業をやらせていただいたことで、雇用を維持することができました。

また、今後についても継続をいただけるということで、この場をお借りして感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

**(赤池委員長)**

ありがとうございました。その他にありませんでしょうか。

私からばかりで恐縮ですが、やはりコロナ禍において、様々な苦勞をされており、観光や飲食業界等も含め、私が想像できないくらいのご苦勞があったと思います。

先ほど、各分野から、コロナへの対応も含めてご説明もいただいているところでございますが、是非、各イベントや取り組みで、工夫された点等を香南市内の中で共有いただいて、「来年度どういう方法であれば、実施できるのか」、「例えば、あのイベントはこういうふうを実施すれば、利用者が安心して開催できる」等のお話ができればと思います。

行政は基本的に規制する官庁であろうかと思いますが、保健所等々、エビデンスが必要だという意見もあるかもしれませんが、実践を1年積み重ねた中で、その事例を、分野を超えて共有することが良いのではないかと感じています。

## (委員 12)

お世話になります。

赤池委員長よりコロナの取組についてお話がありましたので、当協議会の対策や事例を共有させていただきます。

物部川エリアの観光施設や宿泊施設等では、11月24日に、「SSS(スリーエス)認定制度」というものを開設いたしました。

これは正式な認定制度ではなく、コロナの対策を、いわゆる国の基準を基本的に満たしており、観光でこられる方々に向けた対策を独自にとっている施設等に対して、当協議会が認定する制度になります。

現在、エリアで14カ所の認定を行っており、香南市では、創造広場アクランドさんやのいち動物公園さん等がそれにあたります。

認定を受けた施設には、認定証をお渡しし、掲示をしていただくようにしておりまして、お客様にとっては、確認を行えることで、安心・安全な観光ができるようにしております。

また、認定施設の方におきましては、必ずコロナの対策を継続することが求められますので、気を緩めるとなく対応していきましようという意識づけの取り組みにもなっております。

また、当協議会では、物部川エリアだけではなく、県内の他の広域エリアで、コロナの発症を確認した際の対応、対策等についても情報共有を図っております。

このコロナにおいては、終わるというイメージはなかなかつかない状況ですので、「共存していくための方法は何か」というようなことで、モチベーションアップへとつなげるような取り組みを進めています。

また、香南市観光協会や香南市商工会さんにもご協力いただき、少しでもこのような施設を増やしていこうという取り組みを進めています。

また、南国市商工会さんからご紹介をいただき、飲食店の方からもご要望をいただいているところです。

なお、このSSSについては、月に2回のペースで現地へ伺い、対応ができているかの確認や状況の聞き取り等を行っております。

また、現在、観光庁へ「専門家の派遣ができないか」ということを協議しておりまして、このような事業を認識していただき、この認定を受けている事業者が支援を受けれるようにできれば、もっとこの制度が確立されていくのではないかと考えています。

今後は、専門家の派遣が可能になりましたら、現場を見ていただくとともに、参画されている方々への助言ですとか、全国のコロナの取り組み事例を聞いていただき、もっと、自分たちが取り組んでいることや行っていることに自信を持っていただけるように進めて行ければと考えています。

## (赤池委員長)

ありがとうございました。

その他、ご意見等はございますでしょうか。

## (委員 10)

緊急事態宣言の中で、このようなオンラインでの参加になります。よろしくお願いいたします。

我々は、香南市さんと一緒に、市内の地域内を盛り上げていくというところで取り組みをさせていただいておりますが、コロナ禍におきましては、なかなか首都圏の企業様への誘致活動自体はなかなか動けない状

況が続いております。

この1年を振り返りますと、日本全体が、コロナが来る前から「働き方の考え方」に地殻変動と言いますか、大きな変化がある中で、コロナが来て、より、その技術進化を伴って、一気に加速していると認識をしています。

結論から申しますと、香南市さんにとっても、非常に「地域内の雇用振興」につきましてはチャンスが広がっていると捉えています。

「拠点の開設によって雇用を盛り上げていく」という軸でこれまで取り組み、これからも取り組んでいきたいと考えてはおりますが、やはり「テレワーク」というキーワードは、追い風と言いますか、スタンダードになっていくと思っています。

今、首都圏の成長企業様で行くと、「社員、従業員が働く場所は関係ない」という前提で、採用活動をされています。

弊社も全員、在宅で働いておりますし、私自身もどこで働いていただいてもあまり関係ないという認識です。

また、成長企業様の経営者様にお話を伺いますと、優秀な人材を採用するにあたっては、オフィスで働くことを前提にしていた時代に比べ、その可能性は大きく、首都圏以外で、そのまま住んでいただきながら、優秀な方が採用でき、仕事をしていただけることが非常にチャンスではないか、とお話を複数の方から伺っております。

今後については、例えば、企業誘致も続けつつ、首都圏の仕事をテレワークで香南市の方が、香南市に在住したまま仕事をされる形を、今の追い風の中で加速させていくような施策を考えることが求められていると考えています。

一方で、「ワーケーション」や「高度人材の副業」みたいなテーマが世の中としては盛り上がっているのは確かですが、「地域内の雇用を振興する」という観点や趣旨からは、なかなか当てはまってこないのかなという考えを持っています。

ワーケーションというのは、首都圏の方が、首都圏の仕事を、地域で行うということになりますので、当てはまらないのかなという認識を持っています。

ですから、今後については、「企業誘致」と「テレワーク」の2つについて行うことに可能性を秘めていると感じているところです。

### (赤池委員長)

ありがとうございました。

また、令和3年度の取り組み等につきましてご報告をいただいた後に、現在の首都圏の企業の状況等についてご報告と言いますか、情報を共有いただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

さて、ここからは、次の議題に移らせていただきます。

それでは、早速になりますが、令和3年度に向けた取り組み(案)について事務局よりご説明をいただきましたとおもいますのでよろしく願いいたします。

## (農林水産課)

それでは農業分野よりご説明いたします。

資料3の1ページをご覧ください。

農業分野につきましては、令和2年度の取り組みを引き続き行っていくことで新規就農者の獲得につなげていきます。

次に、林業分野になります。

資料3の2ページになりますが、こちらにつきましても令和2年度の取り組みを引き続き進めてまいります。

また、資料4の1ページをご覧ください。

拡充施策といたしまして、①木育事業(木製備品の贈呈)とあります。

こちらは、高知県森と緑の会の事業として、毎年香南市内の企業様を回らせていただき、募金のご協力をいただいておりますが、その募金の7割が香南市として活用させていただけるものになりますので、この募金を活用させていただき、市内の保・幼・小・中へ予算の範囲内で県産木材を活用した木製商品を贈呈していきます。

また、先ほど三谷委員からもお話がありましたが、間伐事業を進めておりまして、その間伐材を活用して、新生児に対しておもちゃの贈呈を行うという事業を今年度実施しております。

来年度も引き続き、この事業については実施していく予定でございます。

次に水産業です。資料3の3ページになります

水産業につきましても、令和2年度の取り組みを基本として引き続き進めて行きますが、新規事業といたしましては、漁船導入事業ということで、漁船リースによる支援を1件予定しています。

資料4にもありますが、この事業は、浜の活力再生広域プランに基づきまして、浜の担い手の所得向上に係る取組に必要な中古漁船又は新造漁船の円滑な導入を支援するものとなっております。

農林水産業は以上になります。

## (商工観光課)

私からは、商業、工業、観光、サイクリングの分野の取り組み案につきましてご説明をさせていただきます。まず、商業分野になります。資料3の4ページをお願いします。

2.空き店舗実態調査ですが、こちらは、年々空き店舗が増加傾向にあるということで、その全体像が把握できてございません。

そういったことで、市内全域の空き店舗数や形態等の把握や、また、併せて、事業の後継者がおいでるか、また、ハローワークには出していないが「こんな人材がほしい」といった事等の調査を行い、空き店舗バンクや事業承継の推進を行っていきたいと考えています。

次に4.空き店舗等対策事業になりますが、市内の空き店舗を活用して新たに出店される方を対象に、店舗の改装費の助成をしておりますが、現在の対象業種は小売業や飲食店等に限定しておりましたが、来年度より、事務所や託児所等、多くの事業所を対象に加える事によりまして、空き店舗の活用促進をより一層進めて行きたいと考えております。

次に工業分野についてご説明いたします。資料3の5ページをご覧ください。

新規事業の企業誘致の推進の2.香南市企業立地促進事業ですが、こちらは、新たに工場建設や増設

時に活用できる補助事業といたしまして、内容等につきましては、現在検討中ということで協議を行っているところでございます。

次の香南市技能功労者表彰制度については、25年以上同一職業に従事し、優れた技能、功績をもつ技能職者を表彰したいというもので、以前より、香南市在住の従業員も表彰を受けさせてあげたいという事業者からのご意見がありまして、来年度より創設をしたいと考えています。この制度により、市内技能者の技術向上、技能継承に寄与したいと考えております。

なお、拡充の新規工業団地整備事業は、先ほども申しましたが、5カ所の候補地から絞り込んだ1カ所の造成基本設計を実施する予定になっています。

なお、本年度に実施できていない、ものづくり教育推進事業については、新型コロナの状況にもよりますが、夏休みごろに市内小学生を対象とした工場見学ツアー等も実施したいと考えております。

参加企業と協力し、子どもの頃から、市内の産業に興味を持っていただき、将来も本市で定住してもらえる様な取り組み行って参ります。以上で工業部会の報告を終わります。

次に、資料3の6ページをご覧ください。

観光分野になりますが、新型コロナウイルスの影響により、全国11都府県で緊急事態宣言が出されており、令和3年度も引き続き、観光産業への影響が予想されます。

国のGoToトラベル事業は令和3年6月末まで延長予定ですが、本事業等を含めて市内における観光客を取り戻すことが最優先と考えています。

また、本年度に実施しています、「香南市で遊ぼう割♪キャンペーン事業」ですが、ある事業所より「団体客のキャンセルが多くて困っていたが、本事業のおかげで家族連れのお客さん多く来てくれたので、何とか持ち直すことができた」、との意見もいただき、また多くの事業所より来年度も続けてほしいという声もお聞きしていますので、本年度分はこの2月末でいったん終了しますが、再開に向けて検討しています。

また、来年度は各観光施設での共通ハッシュタグを作る等、SNS等の情報発信にも力を入れていくことで、より多くの方に本市のほうに来ていただき、少しでも観光入込客数の増加を図って行きたいと考えております。

なお、本日の資料にはございませんが、来年度の新規事業として、のいち動物公園の年間パスポートをプレゼントしたいという事業がございます。

香南市は子供たちを遊ばせる広い公園がないというご意見が他の計画の委員会や懇談会の中でもありますことから、市内にありますのいち動物公園さんと園内や公園スペースで、子供たちと生き生きと遊べるようにということで、保護者の方に向けた年間パスポートをお渡ししたいと考えています。

また、保護者の方には、SNS等をご活用いただき、香南市やのいち動物公園の情報発信をしていただいで、観光PRへとつなげていきたいと考えています。

なお、スキームにつきましては、のいち動物公園さんとも協議を重ねているところでございますが、今の予定では、香南市に住民票のある小学生までの子がいらっしゃるご家庭を対象に引換券を郵送し、それをもって、動物公園の窓口で年間パスポートを交換いただくということを考えてございます。

次に資料3の7ページをお願いします。

サイクリングの取り組みになります。

サイクルツーリズムの推進の1.レンタサイクル推進事業ですが、今まで、ヤ・シィパーク内でのレンタサイクルを試験的に数回実施していますが、利用者でのアンケート調査では概ね好評でありました。

また、昨年の5月にヤ・シィパークの西側から海岸堤防を連結するスロープや、堤防のアスファルトや転落防止柵の整備を県が行ってくれた事から、ヤ・シィパーク内のごめんなはり線の駅前の植栽を撤去し、レンタサイクルを保管する建屋と併せて、駐車場の整備を計画しています。

施設が完成後は、ごめんなはり線の安芸駅やのいち駅、サイクリングターミナル等との連携も進めて行きたいと考えています。

また、各種イベントへの市民参加についても、今後多く参加いただきたいことから、「香南市といえば自転車に力を入れているまち」と認識していただけるよう、ハード・ソフト対策により、一層サイクリングの普及促進を進めて行きたいと考えています。以上になります。

#### (建設課)

私の方からは住宅分野の取り組み(案)についてご説明いたします。

資料3の8ページをご覧ください。

令和3年度につきましては、本年度までの事業を引き続き取り組むこととしておりますが、新規事業といたしまして、市営住宅になりますが、赤岡町の中浜団地の方で玄関ドアの取替工事を予定しています。

この玄関ドアですが、劣化もあり、鉄製であり重く、塩害等により回転しにくい等の影響があることから、48戸について工事を行う予定になっています。

また、拡充事業といたしまして、一番下になりますが、空き家改修事業についてですが、こちらについては、補助金額の上限額を182万4千円から185万7千円に増額するように予定されております。

簡単ではございますが、住宅分野の説明は以上になります。

#### (赤池委員長)

ありがとうございました。

令和3年度の取り組み(案)についてご説明をいただきました。

このことについてたゞいまより意見交換を行いたいと思います。

ご説明いただきましたことについてのご意見や疑問点、ご提案等についていただければと思います。

なお、令和3年度に数値目標等につきましては、各分野とも変更せず、コロナ前に設定した数値目標を掲げて、それに向けて取り組んでいくということよろしいでしょうか。

※ 異議なし

#### (赤池委員長)

それでは意見交換にはいりますが、どなたかいらっしゃいますでしょうか。

#### (委員14)

お繋ぎしたいこととして、今年1月12日に、新規就農を目指し農地を探している方がいるとの連絡を市役所よりいただきました。

その方はUターンで農業を始められるということで、この4月からは農業大学校に通われ、それと同時に、農地に行きながら換地して始めたいということで、具体的にこういうことをしたいというビジョンをお持ちで

したので、適している農地もあったのでご紹介をしてという形でお繋ぎをさせていただきました。

農業委員も市と連携をしてこのような形でお繋ぎするということは非常に大切なことだと改めて思ったのですが、これに加えて、その先の「この方をどうサポートしていくか」ということについては、みんなが周知して、できることをやっていかないといけないと感じた次第です。

#### (赤池委員長)

マッチング後のケアの部分のことについてということでもよろしいでしょうか。

#### (委員 14)

そうです。

先ほども、就農に向けた相談は来たけど、就農の説明をしたら諦めてしまったというケースがあると伺いました。

どのような説明をされたかについてはわかりませんが、やりたいという方がいて、具体的に目標を持たれる方がいるのであれば、1人で考え、実践して、失敗することもあるかもしれませんが、そこを色々な分野の方がサポートをして、最終的に、その方が定着して、成功していくまでをサポートしていくことをやっていかないといけないのではないかと感じました。

また、ご提案ですが、PRの仕方としてについて、InstagramやFacebook等を活用するとあり、私も見たりはするのですが、やはり、YouTube等の視覚に訴える取り組みも考えてみてはどうか。

すぐに始めるのは難しいかもしれないが、YouTuber等に来ていただき、取り上げていただく等の取り組みも良いのではないかと。

梶原町でそのような取組をされており、最近見るようになったのだが、そのようなコラボというか、取り組みを行ってみてはどうか。

自分たちの市のこともそうだが、農業に特化して、「このようなサポートを市はやっています」という市の姿勢を1から発信することが見える化と言いますか、わかりやすい部分にもなるのではないのでしょうか。

このような発信から、我々の取り組み等も含め繋がっていくのではないのでしょうか。

#### (赤池委員長)

ありがとうございました。

新規就農の相談が17件あった中で、それをもう少し多角的にといいですか、様々なサポートも含めてできないかというお話だと思いますがどうでしょうか。

#### (農林水産課)

ご意見はごもっともだと思います。

新規就農をしたい方がいて、畑があったとしても、農業はいきなり、書物だけでやっていけるものではありませんし、1年を通していろいろなことを経験されて初めてスタートと言いますか、1年ですべてを習得できるものでもございませんので、認定農業者の方でありますとか、振興センター、JA、行政も含めてサポート体制を今までもしておりますが、足りない部分についてはこれまで以上にサポートをして、せっかく、就農をされた方が途中で挫折をしてしまうことがないようにしていきたいと考えています。

また、SNS等の取り組みにつきましてですが、テレビで拝見したのですが、週末のみ農業をされる方向けとありますが、本格的な就農者に対してではないのですが、農業のマニュアルの動画で配信している企業さんがあると内容の番組を拝見いたしました。

内容ですが、例えば、キャベツを収穫するときには、「このような服装をするのが良いですよ」から、キャベツの収穫に仕方までを動画で配信をしているようなものでした。

まるまる同じことにはならないと思いますが、このようなところを含めて農業へのきっかけを持っていただくケースもあろうかと思っておりますので、そのような取組も考えてみたいと思っております。

#### (赤池委員長)

ありがとうございました。その他いかがでしょうか。

#### (委員 11)

先ほどお話がありましたワーケーション事業についてです。

県から市を通じて、先日もワーケーションについて問い合わせがありました。

香南市は、海浜公園とか、マリンスポーツ、ゴルフ場、動物公園があり、立地的には恵まれていると感じる。

現在、香南市内の宿泊施設は、コロナの影響により危機的な状況をうけています。

この宿泊施設を活用いただき、ワーケーションに市の方もバックアップしていただいて、進めていただければと考えています。

#### (商工観光課)

ワーケーションにつきましては、現在も様々な場所で始まりつつある取組でして、県からも調査がありまして、お世話になっているサイクリングターミナルについても、宿泊施設であり、自転車もあり、海に近く、磯遊びもできるといったことで、絶好の場所ではないかということで課内と協議をしているところです。

是非、ご協力をいただき、また、市内宿泊施設はまだいくつかございますので、そこもお話をさせていただきます、やはり、相手からしますと、いくつか候補地があったほうが選べますので、1カ所ではなく、複数の選択肢があることが香南市の強みであるという形で取り組んでいけないかと話をしていたところです。

今後もよろしく願いいたします。

#### (委員 13)

ここで発言することが良いかどうかは分からないが、産業振興計画は令和6年度までの計画ということで掲載されている。

また、資料を拝見すると『現状維持にするのにはどうすればよいか』という内容が多くみられると感じている。

本来、まちづくりの中に、「10年後の夢を見る」とか「未来を語ろう」というようなことも必要だと思われるが、香南市の場合、どこで意見をしていくのか。

農業も水産業も各産業はコロナ禍において非常に苦勞されている。

1人、2人の担い手の確保に向けた取り組みも重要なのだが、もっと「将来に向けて、香南市はこうしたら



立ち直れるのではないか」だとか、例えば、水産業では、シラスとシイラというが、だんだん漁師さんも少なくなっていて、それに対して1人、2人の担い手の育成をやっていくことが、大切な部分ではあるが、そうではなくて、将来的に漁業の方々を活かそうとするのであれば、「市として、養殖業にシフトしていくのに何年計画でやっていく」とか、農業でも、県が行っている近未来農業へのシフト化を進めるために、このようにやっていく」等の取り組みをしていくのも良いのではないか。

香南市の方でも、農業の視察等は多くの方が行っていると思われる。

そういうことは2〜3年でできるわけではないが、そのような取り組みができれば、農業の中でも若い人が入ってくるかもしれませんし、先ほどお話があったようなサラリーマン農業の方やサラリーマン漁業と言ったような方も現れると思う。

産業振興計画は令和6年度までということで、これはこれでいいと思うが、若者が意見を言える場はどこにあるのかなと思い、発言をさせていただいた。

### (赤池委員長)

ありがとうございました。

当計画は、昨年度第2期が策定され、5か年の計画で毎年度ご報告をしている所ですが、丸岡委員のご発言は、「市の産業振興のビジョン」みたいなところを、中・長期的にどう描いていくのか。描いていくプロセスをどうしていくのかについてのご発言だったと思いますがいかがでしょうか。

### (清藤市長)

委員よりご意見をいただきましたが、本日の会は、香南市の中の産業振興計画の策定委員会であります。

計画ですから、あくまでも具体的な計画、または、数年後の計画があって、それに対して確認をしてというものでございます。

皆様もご承知のとおり、全国では、まち・ひと・しごと創生総合戦略というものがありまして、香南市の場合は、しごとの部分についてはこの産業振興計画が担っており、ひとについては人生支援計画が担っています。

まち・ひと・しごと創生総合戦略では、2060年の香南市の人口を30,800人にするとありまして、この30,800人にするのはどうすればいいかということで、産業ですとか、教育、文化、福祉とか、具体的に言えば、住環境整備、子育て支援等をどうしていけばよいかについて議論をかわし取り組んでいます。

この中で、5年後の香南市を、10年後の、30年後の、ということも話し合わせておりますが、できましたら、せっかくご意見をいただきましたので、この計画書には令和6年度までとなっておりますが、これはあくまでも実施計画のようなものですので、これにプラス、10年、20年後には「こんな産業を目指す」ですとか、農業については、「このようにしていく」というような方向性を、この計画に含んでいくこともいいと思います。

先ほど、イシンの片岡委員より、テレワークという1つのビジネスチャンスのヒントもいただいたと思いますので、そのようなことも合わせて、この委員会でも活発にご議論いただければと思います。

また、まだ構想の段階ですが、20年、30年後の主役と言いますか、香南市を担う年代の方々、例えば20〜30代の方々に本日のようにお集まりいただき「香南市未来会議」ということで、将来を語っていただき、語るだけではなく、単なる要望として終わるのではない取り組みを進めていきたいと考えています。

委員は20代とも言いましたが、中学生や高校生、大学生もいいかもしれません。

そのような会を行い、その中で、香南市の産業等の現状等もわかっていただき、興味のある分野に分かれて話をしていただき、観光や商業といろいろありますので、そういった事も令和3年度は考えていきたいと考えています。

1年前にはコロナに関してこのようなことになるとは予想をしていなかった。

行政というのは、何を先にするとか、何をどれくらいやるのが良いか等、いちいち考慮しながら考えていかなければならないのですが、将来のことも含めて、この会でも色々なご意見をいただき、来年度以降に繋げていきますし、柔軟に対応できるところについては、対応をさせていただくということで、赤池委員長にもお願いをしていきたいと思えます。

そうすることにより、幅と活気も出てくると思うので、本日は、委員から問題提起をいただいたということでとらえていただき、是非皆様にも一緒になってお考えいただけますと助かります。以上です。

### (委員12)

今年度の取り組みについてですが、香南市では様々な施策を行い、12月までの入れ込み客数は前年比85%と伺っております。

我々が調査したところによりますと、物部川エリア全体で前年比40%ということで、香南市さんの施策というのは、このエリアの観光にも大きく反映をされていると考えられます。

直接的な観光の支援の在り方の指針となるのが香南市さんの観光ではないかと実感をしているところです。きちんと数字で上がってきているということは、香南市さん以外の市町村さん等にどのような対策をとっていかにご紹介ができるので、来年度も継続して取り組んでいかれるというようなお話もありましたので、是非ご協力をいただき、今後のつなげていきたいと考えています。

また、現状の観光を維持していくための取り組みというのは、このように香南市さんに取り組んでいただいているからこそ、当協議会としても、次を見ていく先ほどのSSS制度の取り組みが行えていると考えています。

どちらが欠けてもいけないというふうに考えておりますので、来年度も継続いただけるということで、他市町村に対しても、ご紹介をさせていただく等の取り組みを進めて行きたいと思っています。

最後に、新聞報道等にもございましたように、香美市の大宮小学校が、公立の小学校では初めて、国際バカロレアの認定をされました。

このような取組は移住の促進や人口の増加にもつながっていくと感じていますし、先ほど丸岡委員の提起や市長から、今後のことやまち・ひと・しごと創生総合戦略のこともありましたので、今後、注目される観点かなと感じましたので、ご紹介をさせていただきました。

### (委員3)

農業分野について伺いたいのですが、空き家バンクのような形で、農地バンクというような取り組みはありますでしょうか。

ニラのハウスを行っていたが、高齢によりハウスを辞め、稲作へシフトしているような事例もある。

そのような方って多いのではないのでしょうか。

後継者がいないので、農業をやめていく方も多いのではないのでしょうか。

あまり農業に詳しくない部分もあるので、突飛な意見かもしれませんが、3年後に農業をやめる計画をされている方から、5年後にはというような方の情報をキャッチできるようなことはないか。

外国では、徒弟制度で入って、その場を受け継ぐというようなこともあるので、そのような取り組みがあれば、農地もハウスも引き継いでいけるのではないかと。

#### (委員 14)

新規で農業を開始する方では、やはり、初めからハウスを建てるというのはなかなか難しい状況ですし、中古のハウスと言いますか、使用していないハウスを探している方も多くいらっしゃいます。

最初の投資がなく、そこでお金をためて、新たなハウスを建てていくというスキームとしては必要で、農業委員としても市としても行っていきたいと考えていて、そのような情報が、色々なところで飛び交うような場所が本当にほしいと思っている。

#### (地域支援課)

香南市では、平成 29 年度より、農地付き空き家バンクに取り組んでいます。

一定、地番指定の農地付きということで、空き家バンクに農業ができる下限面積の農地が付随している場合は、農業委員会に調査、審査をしていただき、許可を受けています。

これまでに、5 件の農地付き空き家バンクが登録されており、2 件が売買という形で引き継がれています。

これからも、当課では積極的にこのような取組を、農林水産課と農業委員会と連携をしながら進めていきたいと考えています。

#### (赤池委員長)

ありがとうございました。

さて、予定されていましたが 11 時 30 分が迫ろうとしておりますが、本日は 15 分ほど延長をさせていただきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

#### (委員 7)

令和 2 年度はコロナということで、様々な会、会食や取り組み、イベントは中止の傾向となりました。

令和 3 年につきましては、with コロナの年になると考えています。

なので、「今まで通りの内容ができないから中止にする」という考えではなく、形を変えたり、今までのイベントの中でもできることをピックアップしてやっていく形で是非取り組んでいただきたいと思っております。

ガイドラインにこう書いてあるから無理であるという考えでなく、どうやったらできるだろうかという考え方が非常に大切だと難じている。

昨年開催した、土佐塩の道トレイルランニングにつきましても、今思えば、コロナが落ち着いていた時期に開催をすることができたということはあると思いますが、当初から開催に至るまでに、やはり「どうすれば開催できるか」という観点で協議を進め、準備をし、実行を行いました。

市内には、実行委員会が組織され、市も事務局として関わっているものもいくつかあると思います。

このイベントを通じて、香南市に来てくれる方もいらっしゃいますし、この長時間滞在により、市内飲食業店さんが潤う等のケースもございますので、是非、できないから中止ではなく、どうやればできるのかというビジョンと一緒に考えていただきたいと考えています。

トレイルランニングについても、初めてのことで苦労はありましたが、11 月にはその経験を共有してこられ

びマルシェの開催にも引き継がせていただくことが出来ましたので、そのような協力関係も含めて取り組んでいければと考えていますので、どうぞよろしく願いいたします。

#### (赤池委員長)

ありがとうございました。

先日、県の産業振興計画の観光部会に出席をさせていただいた際に、同じように委員から出ておりました。

県内各所でスポーツ合宿等を含めまして、各施設では、コロナ禍における観光のイベントや受入について情報を蓄積してきているとのことでしたので、例えば、「このスポーツであれば、こういうところに気を付けたら実施できる」と言うような共有もできるということで、各地域のイベントでも相談を受け付けるとのお話がありましたので、その方面にもお伺いしてみても良いと思います。

#### (委員 13)

コロナの件だが、高知県は先だって、警戒レベルを「警戒のオレンジ」に引き下げました。

香南市も、この県の警戒レベルを基本としてこれまで取り組んできていますが、県は香南市を含めて、全ての地域の総合的判断に対する警戒レベルであります。それが全て香南市に当てはまるわけではないと思うので、令和 3 年度につきましては、県との連携を取りつつも、香南市の独自の警戒レベルを打ち出してほしいと感じている。

#### (赤池委員長)

保健所の支持も仰ぎながらということもあると思うので、県の方に問い合わせをし、情報共有をできるようにしたいと思います。

その他、皆様いかがでしょうか。

それでは、最後に、今回オンラインで、大変な中、ご参加いただいています委員より、首都圏の商業分野の事務系企業に関連しまして、働き方やコロナ禍の他の自治体の事例等についてご紹介をいただきたいと思っております。

#### (委員 10)

先ほどもお話をさせていただきましたように、働き方の考え方自体はコロナの影響前から大きく変わり始めていたのですが、コロナによって一気に加速をしているのは全国で共通をしていると感じています。

先進的にそういったところのキャッチアップをしている首都圏のベンチャー企業様もいらっしゃいますが、従来から、東京にオフィスを構えながら、首都圏の方に働いていただくことは、求人倍率も非常に高止まりしていましたし、コロナ禍においても、その倍率は 1 倍を超えているわけですから、採用が非常に厳しいというのは今も変わっておりませんし、コロナが収まっていけばいくほど、採用の難易度は高まっていくであろうという状況です。

その中で、「テレワークでどうにかなるよね」というのが、特に事務系の仕事に関しては、在宅でも進みますし、そういった意味では、首都圏の方をテレワークで雇用するよりも、全国、もっと言いますと日本以外の方をテレワークで自分の会社で働いていただくということが、理想論ではなく、現実論として進み始めています。

特に小規模で、ルール改変が柔軟にできるベンチャー企業様であったり、事務系だけではなく、開発職、

エンジニア職等、職種の偏りはありますが、こういったことが加速していくのではないかと考えられます。

現在、空き店舗を活用した事務系企業の誘致ということで我々もご協力をさせていただいておりますが、事務系については、特にテレワークの相性が良いというところではあります。

あと、空き店舗を活用する軸で考えたときに、これはご提案ですが、企業向けに空き店舗をご提供されるだけではなく、例えば、対個人に提供されるという考え方も1つあるのかなど。

つまり、そういった地域外の仕事をされている香南市の方々が集まるコアーキングオフィスみたいな活用法みたいなところも1つ。

家で在宅ワークをすることという意味では、環境がなかなか整わない状況もあるので、働きやすいテレワークの拠点というのも1つ良いのではないかと考えてみました。

また、弊社では自治体通信という媒体を発行しておりますので、今、申し上げたような事例等につきまして各自治体さんの取り組み等もキャッチアップさせていただいているところでございますが、先ほど申しました「ワーケーション」ですとか「首都圏の高度人材の副業として」というような事例はあるのですが、「首都圏の仕事を地元の人がやる」という領域においての先進事例と言うのはまだ目立っていませんので、先ほど申し上げた、香南市さんの方で、テレワークの拠点を展開するというような先進事例があっても良いのではないかと感じているところです。

#### (赤池委員長)

ありがとうございました。

さて、お時間を超過してしまい大変恐縮ですが、これで、議題②の令和3年度の取り組み(案)につきましては、情報の共有及び確認をいただいたということでよろしいでしょうか。

※ 異議なし

ありがとうございました。

それでは、本日はここまでとし、事務局の方へお返しをさせていただきたいと思っております。

#### (事務局)

本日は、赤池委員長をはじめ、委員の皆さまには長時間にわたり熱心なご議論ありがとうございました。

本日頂きましたご意見は、各部会のおろすとともに、関係致します他の計画とも共有し、今後活かしていきたいと考えています。

最後に「スケジュールのご説明」をさせていただきます。参考資料をご覧ください。

来年度につきましては、本年度開催を見送りました合同部会や講演会につきましては、行えればと考えています。

また、次回の策定委員会でございますが、こちらにつきましては、5月末頃に「令和3年度 第1回 策定委員会」ということで、令和2年度の取り組みの総括についてご確認いただきたいと思いますと考えていますが、現在の予定では、5月31日の午後になると思いますが、本日と同じ会場で開催をさせていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催日程などについては変更の可能性もございますこと

をご了承ください。

それでは、閉会にあたりまして、清藤市長、よろしく申し上げます。

**(清藤市長)**

皆様お疲れ様でございました。

今日は、令和 3 年になりまして初めての策定委員会ということで、少し時間も予定を超えるというように、活発な意見をいただきました。

コロナ禍と言いますか、その後のビジネスチャンスという観点を片岡委員よりいただいたわけですが、そういったことプラスのことも我々もしっかり考えていかないといけませんし、そんなことも含めて、今後も、また、令和 3 年も、引き続き、委員の皆様にはお力添えを賜りたく、重ねてお願い申しあげまして、閉会の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

以上